

皆様、明けましておめでとうございます。令和8年の輝かしい新春を迎え、本日ここに、下川消防出初式が挙行されますことを、心よりお慶び申し上げます。下川町議会を代表いたしまして、一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

日頃より、消防団の皆様、ならびに消防職員の皆様におかれましては、24時間365日、暑い日も、寒い日も、常に町民の生命と財産を守るという崇高な使命のもと、献身的なご尽力を賜っておりますことに、深く敬意と感謝を表すものであります。

また、先ほど、永年にわたり下川町の防火・防災にご尽力された団員の皆様のご功績に対し、表彰を受けられましたことに対し、心からお祝いを申し上げます。また、皆様のご家族におかれましても、団員のこれまでの消防活動をお支えいただいたことに、あわせて感謝申し上げます。

近年は、各地において発生する山火事や市街地での火災、激甚化・多様化する風水害、頻発する地震、そして北海道は大雪への対応など、地域防災の重要性は一層高まっております。そのような中であって、地域を知り尽くした消防団の存在は、町民にとって大きな支えであり、まさに「地域防災の要」であります。

一方で、全国的な課題でもありますが、消防団員の確保、とりわけ若い世代の入団促進は、今後の地域防災を考えるうえで避けて通れない重要な課題であります。仕事や家庭との両立など、厳しい環境の中にあっても、郷土を守るという強い志をもって活動されている皆様の姿は、若い世代にとって大きな模範であり、地域の誇りであります。若手団員が安心して活動でき、やりがいを感じられる環境づくりとともに、消防団活動の意義や魅力を広く町民に伝えていくことが、これからますます重要になるものと考えております。

(2026.1.11 下川消防出初式祝辞)

また、地域防災は、消防団や行政だけで成り立つものではありません。町民一人ひとりが防災への関心を高め、日頃から備えを行い、いざという時には助け合う意識を持つことが、被害を最小限に抑える力となります。消防団の皆様の活動が、地域全体の防災意識の向上につながっていることに、改めて感謝を申し上げます。

議会といたしましても、皆様が安全かつ円滑に活動できる環境づくりに努め、行政と一体となって、防災・減災のまちづくりを進めてまいる所存であります。

結びに、消防団員並びに消防関係者の皆様のご健勝とご活躍、そして下川町がこれからも安全で安心して暮らせる町であり続けますことを心より祈念申し上げます、私の祝辞といたします。

令和8年1月11日 下川町議会 議長 我孫子 洋昌